

機関リポジトリ導入事例報告

～奈良医大の場合～

奈良県立医科大学附属図書館
鈴木 孝明

1. 導入のきっかけ

- ・ 館長の理解
日本医学図書館協会総会への参加 (2006.5)
- ・ 丸善(株)からの提案
機関リポジトリに関する提案趣意書 (2006.7)
- ・ NIIの推進
次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業
(平成19年度)

2. 導入の実現

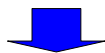
- ・ 館長の働きかけ
図書委員会、大学広報、学長等へ提案
- ・ 独立行政法人への移行
新規予算要求の緩和
→ **予算獲得(平成19年度)**
- ・ DSpaceの業者委託
丸善(株)へ委託
→ **現行スタッフで運用可能**

3. 導入にあたって

- ・ サーバーの設置、稼働 (2007.6)
ハード・ソフト → 5年リース契約
ソフト保守 → 年度契約
- ・ ワーキンググループ (WG) の編成 (2007.10)
図書委員会の下部組織
- ・ 設置要項、運営指針の策定 (2008.2)
WGで作成→図書委員会→教育・研究審議会→
役員会承認
- ・ 資料電子化に要する機器購入 (2008年度)
スキャナー、裁断機

4. 名称の由来

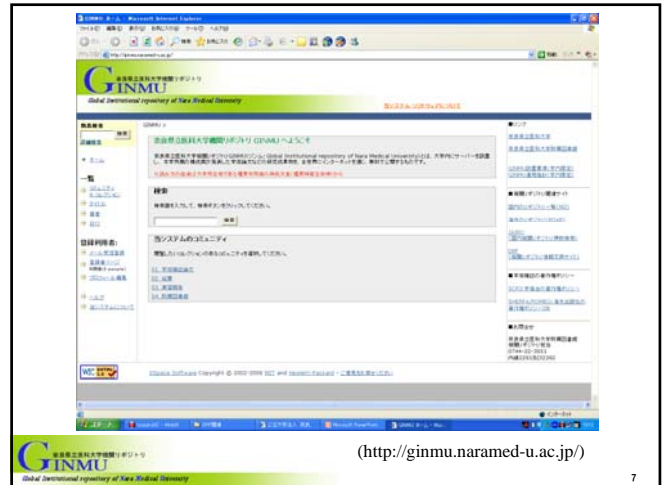
- ・ 奈良医大の所在地→奈良県橿原市
近隣に橿原神宮ならびに神武天皇陵
図書館関連システムを「ジム」と名づけたい。
(演者の20年来の夢)
当初、「JINMU」→適当な名称が思いつかず...
「GINMU」ならどうだろう？！



Global Institutional repository of
Nara Medical University **決まり！！**

5. 正式公開へ

- ・ 専門部会へ改称 (平成20年度)
- ・ 広報用チラシ作成 (平成21年度)
- ・ ハンドル・システムへ登録 (2009.10)
<http://hdl.handle.net/10564/>
- ・ 本学トップページへバナー掲載 (2009.11)
- ・ ハーベスティング申請



6. 一連の登録作業

- 資料の収集
 - 紀要類、専門部会メンバー業績
- 著作権処理
 - 出版社、雑誌タイトルによって異なる
(著作権ポリシー・サイトを参照)
- 資料の電子化
 - プリント版: スキャナー → PDFファイル
 - Word等ファイル: PDFへファイル変換
- メタデータの登録




すべて手作業

7. 課題

- コンテンツ収集・登録作業
 - 日常ルーチンであつぷあつぷ!
 - 著作権処理工程があいまい…
 - もらっても出版社版…
- 学内の周知活動
 - 説明会よりも個別勧誘の方針に決まったが…
- 学外への広報活動
 - ネタが乏しいので消極的

8. 今後の展望

- 専門部会活動の強化
 - ネットワーク部門、研究推進部門、教育研究部門等との横の連携構築
- 
- 大学色を出したコンテンツ拡充
 - 研究者データベース、eラーニング等との連携
 - 外部コミュニティへの参加 (DRF、地域実務者研修)
 - 県内医療機関共同リポジトリ構築への取り組み